



第6次滑川町総合振興計画 基本構想・前期基本計画
第3期滑川町まち・ひと・しごと創生総合戦略

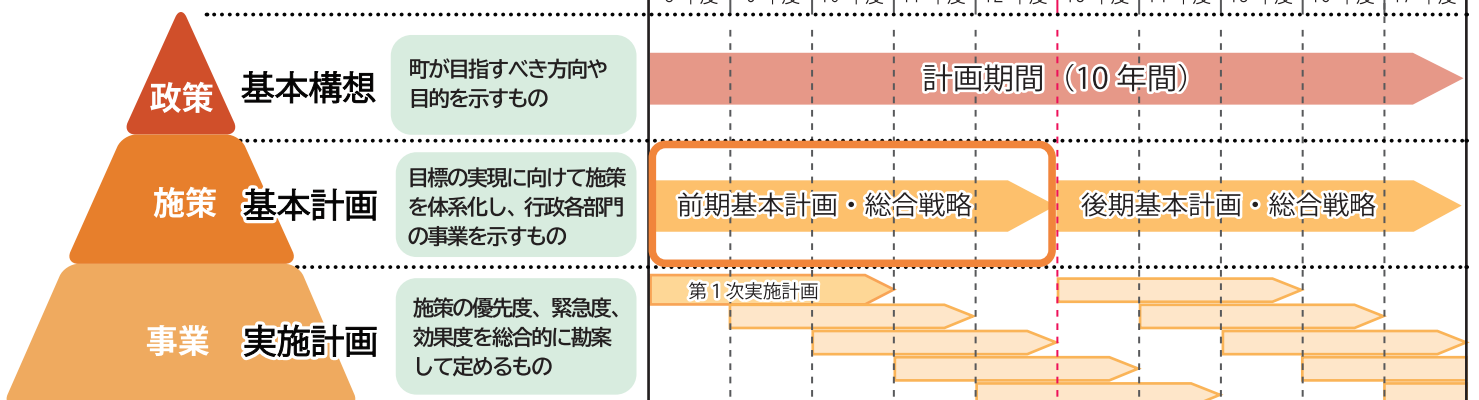
総合振興計画について

滑川町の「まちづくり」の最も基本となる計画です。

「第3期滑川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（総合戦略）」を内包した形で一体的に策定し、持続可能なまちづくりを推進するものです。

3つの構成で政策、施策、事業を体系的にまとめています。

前期基本計画の計画期間は **5年間**（令和8年度～令和12年度）です



基本構想

まちづくりの目標
(将来都市像)

まちづくり ひとづくり

人口フレーム

令和 17(2035)年
10年後の人口は…

20,000人

土地利用構想

本町の豊かな自然的土地利用と利便性の高い都市的土地利用が調和した環境を生かし、町の活力のさらなる向上を目指します。

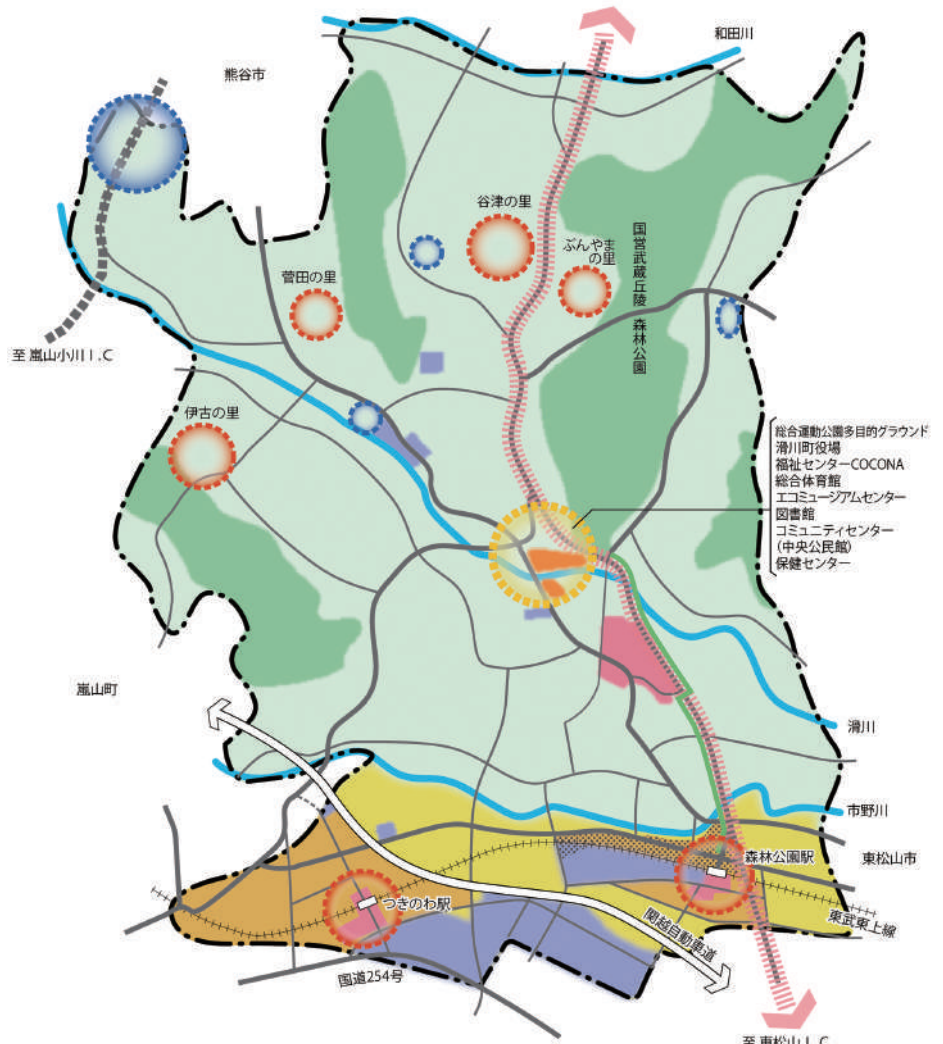
都市と自然が調和した持続可能な暮らしを育む土地利用の推進

都市機能の充実を図るエリアの形成

町内外の交流を促進するエリアの整備・充実の推進

凡例

- 住宅系土地利用 (市街地)
- 住宅系土地利用 (環境調和)
- 産業系土地利用
- 商業系土地利用
- 農業系土地利用
- 観光レクリエーション系土地利用
- にぎわい交流エリア
- まちづくり交流エリア
- 産業系土地利用検討エリア
- 住居系土地利用検討エリア
- 広域交流連携軸
- 関越自動車道
- 広域幹線道路
- 幹線道路
- (構想路線)
- 河川
- 森林公園緑道
- 鉄道



笑顔あふれる滑川町



人口フレームは、将来都市像を具体化するための目標です。
本町の人口増加が縮小していくことが予想される中で、今後も、継続して町民生活の利便性向上や暮らしの充実に取り組み、多様な世代が安心して住み続けられる持続可能なまちづくりを進め、10年後に人口20,000人の維持を目指します。

基本計画

施策の大綱

将来都市像の実現を目指し、町民生活を支える施策を体系的に整理します。



滑川幼稚園運動会



デフリンピック



二宮山展望台

将来都市像 「まちづくり ひとづくり 笑顔あふれる滑川町」

重点施策1

ピカツと滑川
にぎわいのまち

重点施策2

わくわく滑川
はたらくまち

重点施策3

つながる滑川
みんなのまち

第1章

誰もが生涯安心して
暮らせるまちづくり

福祉

第2章

豊かな心と文化を
育むまちづくり

教育文化

第3章

暮らしやすい
快適なまちづくり

都市基盤
生活環境

第4章

特性を生かした活力
ある産業のまちづくり

産業経済

第5章

町民との協働による
自立可能なまちづくり

行財政・
コミュニティ

基本
目標

事業単位の実施計画による進行管理

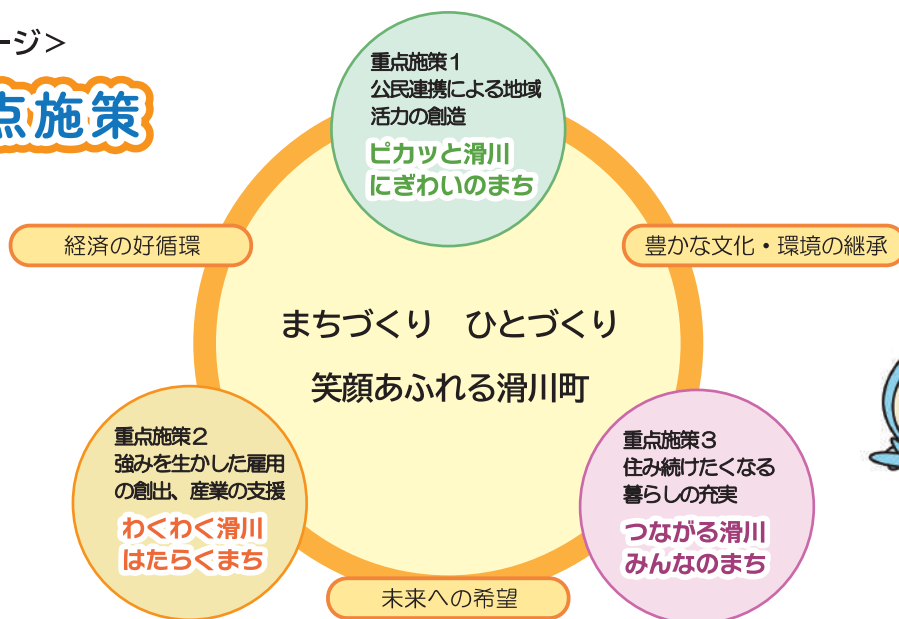
重点施策

重点施策は今後5年間で重点的・横断的に進める取組です。

人口増を維持する本町においても、今後の変化を見据え、「経済・社会・環境」、「住む・訪れる・働く」の好循環を生み出していく必要があります。地域経済循環を確立すること、豊かな文化・環境を継承すること、未来への希望を育むことで好循環を生み出し、将来都市像の実現に向けて、重点施策を一層推進します。

<重点施策のイメージ>

3つの重点施策



重点施策1

公民連携による地域活力の創造 ～ピカッと滑川 にぎわいのまち～

1. 地域資源を生かした交流の促進

- 町内の文化財、レクリエーション拠点などの拠点を活用した観光・交流ネットワークづくり
- 農業を通じた町民の交流促進
- 町内の観光推進体制の強化と回遊の促進
- 駅周辺の空間を活用した滞留スペースづくり など

2. デジタル化の多様な活用の推進

- 防災DXによる迅速かつ正確な防災情報の発信
- 文化財や史料のデジタルアーカイブ化
- 部署横断的な情報のクラウド化によるサービスの質の向上
- 観光情報のデジタル化
- 自治体DXによる住民サービスの拡充 など

3. 世代や文化をつなぐコミュニケーションの場づくり

- 多世代・多文化の交流を育む機会や場の提供
- 集える場所を中心とした、各地域のコミュニティの再構築
- 生涯学習活動やスポーツ・サークル活動の充実 など



重点施策2

強みを生かした雇用の創出、産業の支援 ~わくわく滑川 はたらくまち~

1. 持続可能な農業の推進

- 農業の省力化を図るための新たな技術の農業への導入支援
- 本町の特産品のブランド力の強化、新たな特産品や加工品の開発支援
- 安心して農業を続けられる環境づくり など

2. 安定した雇用の創出

- 産業系・商業系の適切な土地利用の推進
- 企業誘致の推進
- 多様な働き方環境の整備 など

3. 地域経済の活性化の促進

- 地元企業のニーズに即した優遇制度の検討や相談支援の強化
- 経営者の育成や就業者のスキルアップ支援 など



重点施策3

住み続けたくなる暮らしの充実 ~つながる滑川 みんなのまち~

1. 子育て支援の充実

- 子育て支援メニューと体制の充実による子育て負担の軽減
- 安心して子育てができる相談体制の充実 など

2. 豊かな人生の土台となる教育の推進

- 地域の特性を生かした教育環境、体験的学びの充実
- 家庭と連携した基本的な生活習慣の確立
- 町民の主体的な学びを支援する生涯学習の推進 など

3. 一人一人の健康で豊かな生活の支援

- 誰もが自分らしく、自立した生活を送ることができるための健康づくり
- 見守り活動など、日常生活の支援を通じた地域コミュニティの形成 など

4. 安全・安心な防災体制の充実

- 防災訓練や防災知識の普及による地域防災力の向上
- 発災を想定したタイムラインの作成などによる逃げ遅れゼロ など



基本目標

町民生活を支える施策を「5つの政策分野別基本目標」に整理しています。

これまで培ってきた行財政運営に基づき、さらに地域と行政が一体となってまちづくりに取り組んでいくとともに、各施策を通じて、町民一人一人の笑顔を引き出すまちづくりに取り組みます。

5つの政策分野別基本目標

福祉

教育文化

都市基盤
生活環境

産業経済

行財政・
コミュニティ

第1章 福祉

誰もが生涯安心して暮らせる まちづくり

保健・医療・福祉の各分野が連携し、誰もが不安なく安心して日常生活が送れる環境づくりを目指します。

- 1-1 子育て支援対策の充実
- 1-2 健康づくりの推進と医療の充実
- 1-3 地域で支え合う福祉の充実
- 1-4 高齢者の暮らしの充実
- 1-5 障害者の暮らしの充実



滑川町福祉センターCOCONA(ここな)

第2章 教育文化

豊かな心と文化を育む まちづくり

こどもたち一人一人の個性や意欲を尊重した教育や地域づくりに取り組むとともに、人生100年時代の多様なニーズに対応した生涯学習の充実に努めます。

- 2-1 就学前教育の充実
- 2-2 学校教育の充実
- 2-3 家庭・地域と連携した教育の充実
- 2-4 生涯学習の充実
- 2-5 郷土文化の保護・活用



親子ナイトハイク

第3章 都市基盤 生活環境

暮らしやすい快適な まちづくり

都市機能と自然が調和した都市基盤を整備するとともに、環境保全や防災・消防、防犯の視点から、豊かで持続可能な暮らしの舞台をつくります。

- 3-1 調和（バランス）のとれた土地利用の推進
- 3-2 安全で安心な生活を守る仕組みづくり
- 3-3 きれいで快適に暮らせる地域環境づくり
- 3-4 便利で住みよい機能的な都市基盤づくり
- 3-5 水と緑に囲まれた居住の場づくり



つきのわ駅周辺の住宅地

第4章 産業経済

特性を生かした活力ある産業の まちづくり

基幹産業としての農業、地域資源を生かした工業・商業・サービス業の振興に努め、観光振興も含めた持続的な発展が可能な地域産業を築いていきます。

- 4-1 滑川らしさを生かした持続可能な農業の振興
- 4-2 工業・商業・サービス業の振興
- 4-3 観光の振興と地域間交流



東松山工業団地



滑川まつり

第5章 行財政・コミュニティ

町民との協働による自立可能なまちづくり

町民と行政の協働による自立的なまちづくりに取り組み、新たな時代の潮流に柔軟に対応できる行政運営を行っていきます。

- 5-1 地域コミュニティの形成とまちづくりの担い手育成
- 5-2 住民と行政の情報の共有化の推進
- 5-3 平等で平和な明るい社会の形成
- 5-4 満足度の高い行政サービスの提供
- 5-5 効率的で着実な行財政運営の推進



花いっぱい運動（中学校）

KGI (重要目標達成指標)

各章ごとに、事業の成果を評価するための最終目標（KGI・重要目標達成指標）を設定しています。

福祉	合計特殊出生率	現況値 (R6年度)	将来値 (R12年度)
		1.19	▶ 1.50
福祉	健康寿命	現況値 (R5年度)	将来値 (R12年度)
		男性 17.88年 女性 21.49年	▶ 18.00年 ▶ 22.00年

産業経済	農業産出額	現況値 (R5年度)	将来値 (R12年度)
		10.3億円	▶ 11億円
	市町村内総生産額	現況値 (R4年度)	将来値 (R12年度)
		873億円	▶ 1,000億円
	年間観光入込客数	現況値 (R6年度)	将来値 (R12年度)
		104万人	▶ 120万人

教育文化	将来の夢や目標をもって生活している児童・生徒の割合	現況値 (R6年度)	将来値 (R12年度)
		小学校 70.2% 中学校 40.2%	▶ 80.0% ▶ 60.0%
	コミュニティセンター (中央公民館) 利用者数	現況値 (R6年度)	将来値 (R12年度)
		22,014人	▶ 45,000人

行財政・コミュニティ	区長による地元要望の実現率	現況値 (R6年度)	将来値 (R12年度)
		45.7%	▶ 60.0%
	実質公債費比率	現況値 (R6年度)	将来値 (R12年度)
		7.2%	▶ 12.2%以下
	将来負担比率	現況値 (R6年度)	将来値 (R12年度)
		8.2%	▶ 50.0%以下

生活都市基盤	防災対策の充実度 (備蓄品を備えた指定避難所数)	現況値 (R6年度)	将来値 (R12年度)
		0箇所	▶ 6箇所
	社会増減 (転入者数－転出者数)	現況値 (R6年度)	将来値 (R12年度)
		168人/年	▶ 180人/年



タブレットを活用した授業



町民スポーツ祭 (玉入れ)



さくらまつり

～笑顔あふれる滑川町の実現に向けて～

滑川町は、充実した都市基盤による居住快適性と豊かな自然や美しい里山が調和した魅力あるまちとして発展してきました。しかしながら、人口増加率は縮小傾向にあり、大きな転換期を迎えています。こうした変化に対応するため、観光振興や農業支援、防災力強化などを通じた地域活性化や社会課題の解決に向けた取組にチャレンジしていく必要があります。

本計画は「第6次滑川町総合振興計画」と「第3期滑川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体化し、横断的かつ機動的に地方創生に取り組み、安定した町政運営を進める指針として策定されました。町民や事業者、地域の皆様の協力を仰ぎながら施策を着実に推進し、笑顔あふれる滑川町の実現を目指していきます。



滑川町長 大塚 信一

